

多摩市文化芸術の将来像に関する アンケート調査結果

1 調査の目的と概要

(1) 本調査の目的

本アンケート調査は、「多摩市みんなの文化芸術条例(令和4年4月1日施行)」の制定に伴い、文化芸術の振興を計画的に推進するため、計画の前段となる文化芸術の将来像について市民の意見を把握するため、行ったものである。

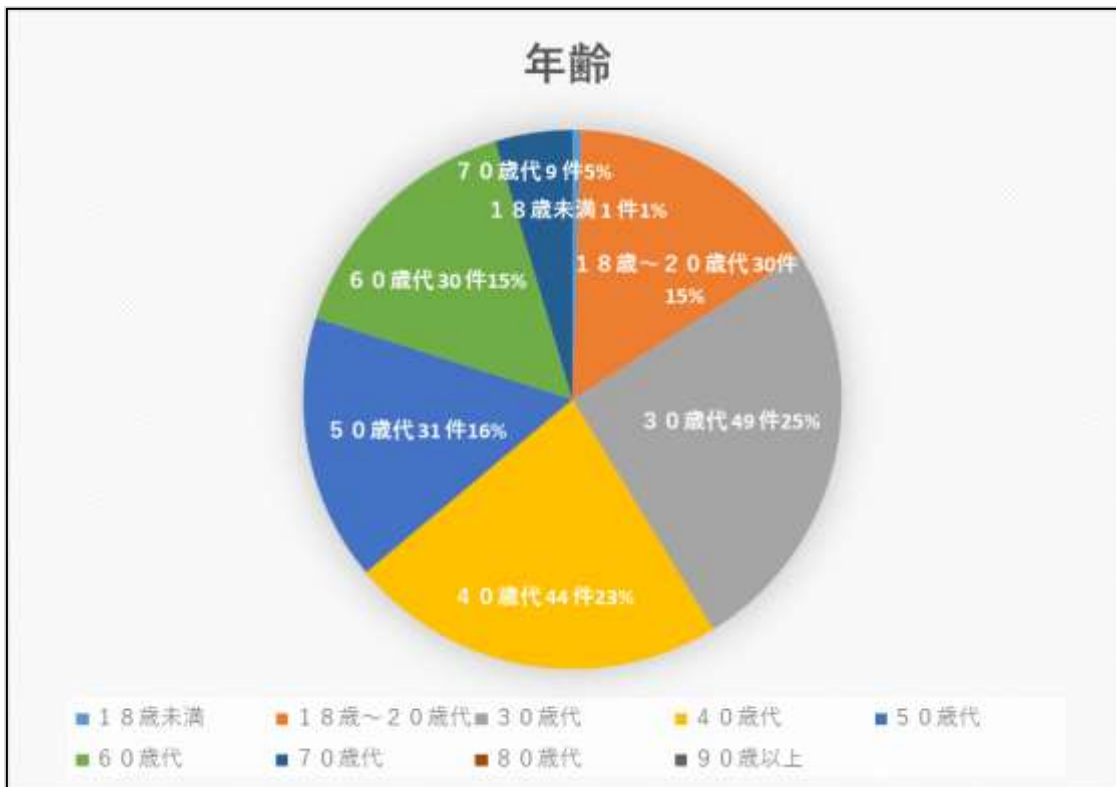
文化芸術の将来像は、文化芸術を通じて「多摩市のあるべき姿・ありたい姿」を表現するものであり、市民・団体・企業・行政など、多摩市に関わっているすべての人と協同し文化芸術を振興していく必要があり、本調査結果は文化芸術ビジョンの検討を行っている多摩市文化芸術ビジョン検討委員会で検討する資料として活用するものとする。

(2) 本調査の概要

- ① 回答数 194名(内 WEB回答179名／紙アンケート回答15名)
- ② 調査期間 令和5年1月20日～2月20日
- ③ 調査方法 URL、QRコードによるWEBの回答専用フォームまたは公共施設(市役所本庁舎、永山・関戸各公民館、市民活動・交流センター、多摩市立複合文化施設)5か所におけるアンケート用紙設置にて回答を依頼

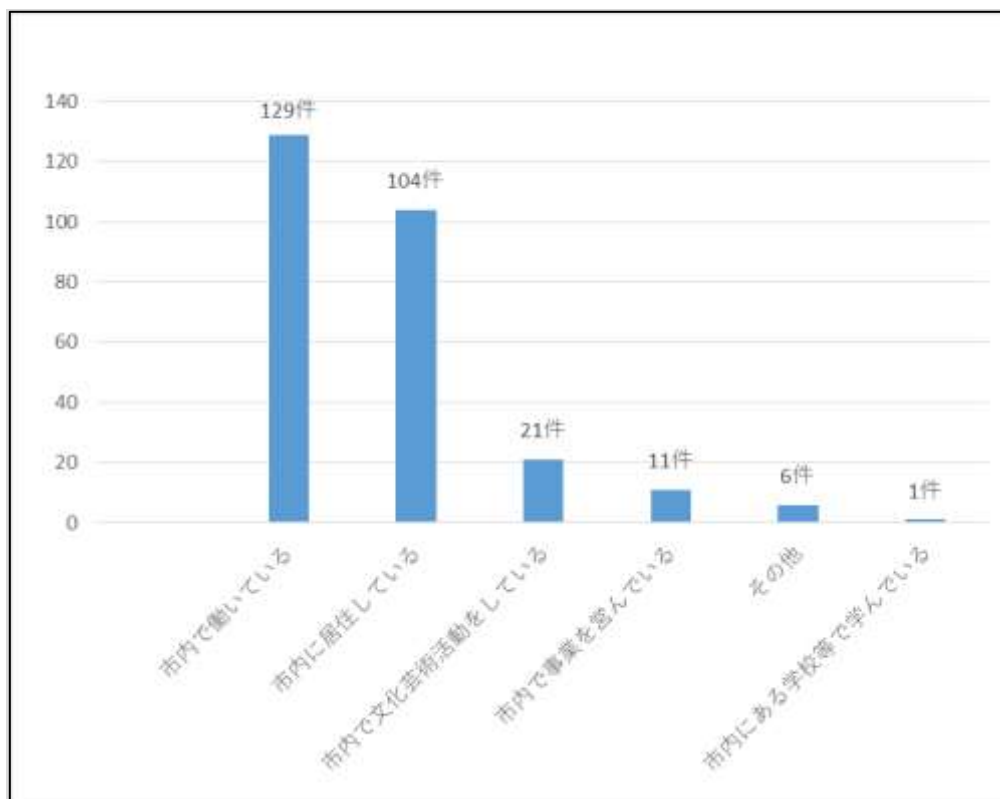
2 調査結果

問1 あなたの年齢をおうかがいします。



選択項目	回答数
18歳未満	1
18歳～20歳代	30
30歳代	49
40歳代	44
50歳代	31
60歳代	30
70歳代	9
80歳代	0
90歳以上	0

問2 あなたは多摩市とどのような関わりがありますか。(あてはまるもの、すべてを回答してください)

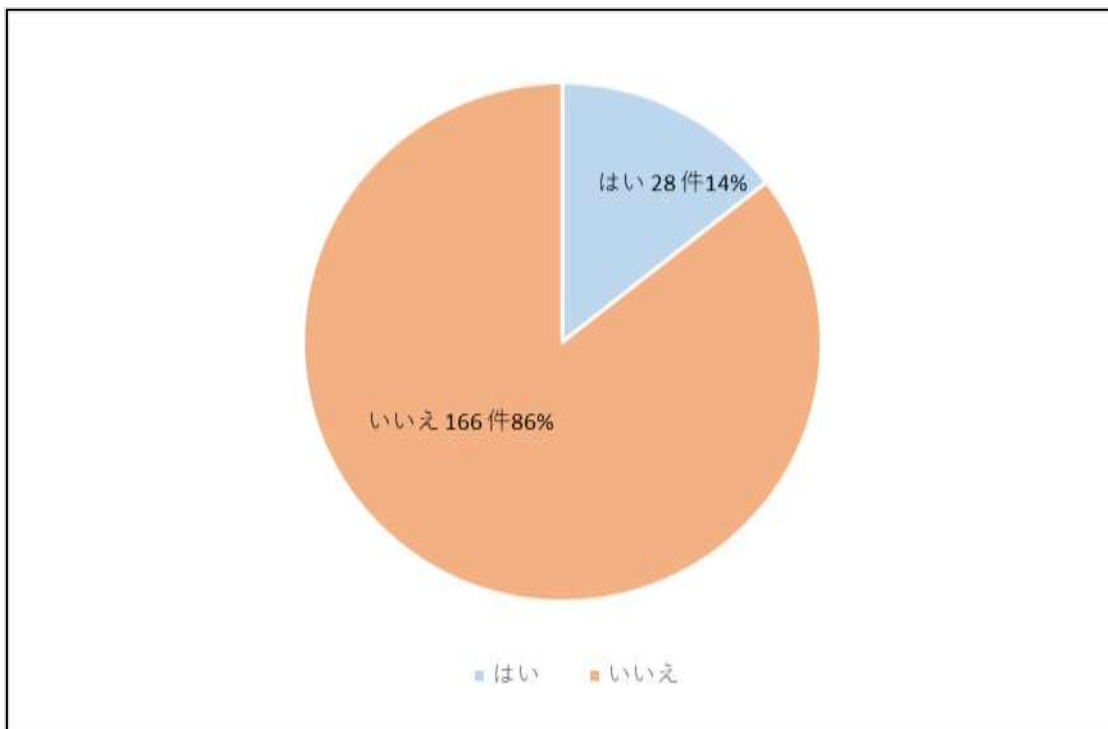


【その他ご意見】

- ・いまは隣の市に住んでおり普段から多摩市内で活動しているわけではないが、多摩市にはパルテノン多摩のような素晴らしいホールがあり、これから文化芸術活動を行っていきたいと考えている。
- ・今は、多摩市以外でのコンサートが多いですが、機会があれば、環境の整っている多摩市での演奏会を増やしていきたいと思っています。
- ・市内で文化芸術活動を広げたいと考えている
- ・市外在住だが市内の事業所と関わりがあり、よく訪れる。
- ・元多摩市民

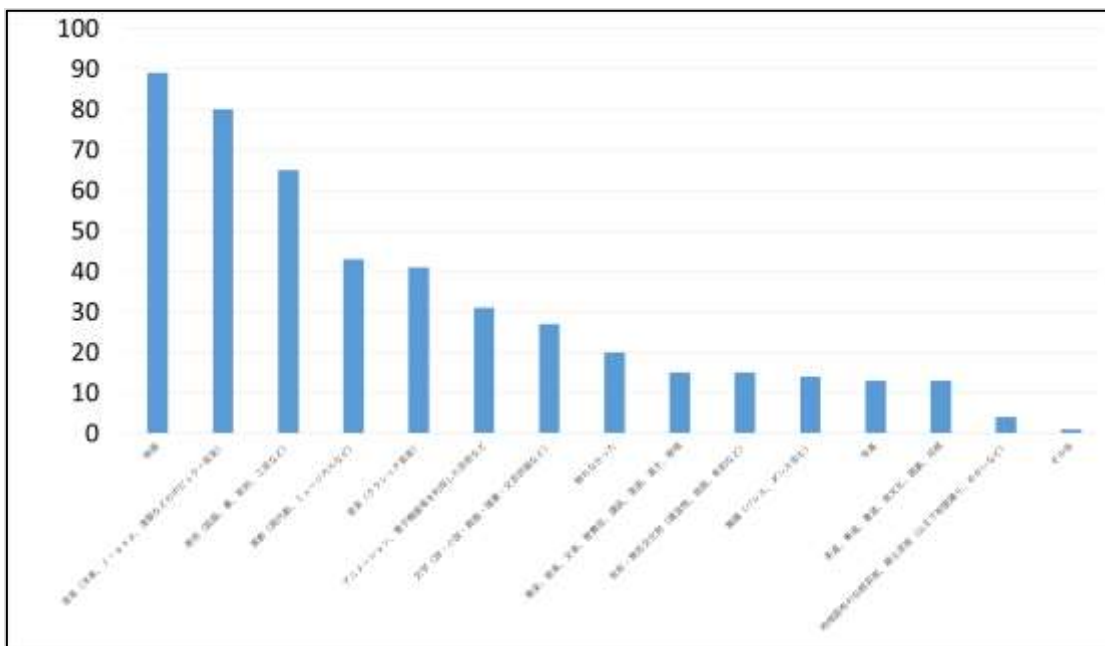
選択項目	回答数
市内で働いている	129
市内に居住している	104
市内で文化芸術活動をしている	21
市内で事業を営んでいる	11
その他	6
市内にある学校等で学んでいる	1

問3 文化芸術関連団体に参加していますか。



選択項目	回答数
はい	28
いいえ	166

問4 この1年以内に、ホール・劇場、映画館、美術館・博物館および書籍などで直接、またはインターネットのライブ配信などで、触れた文化芸術は何ですか？

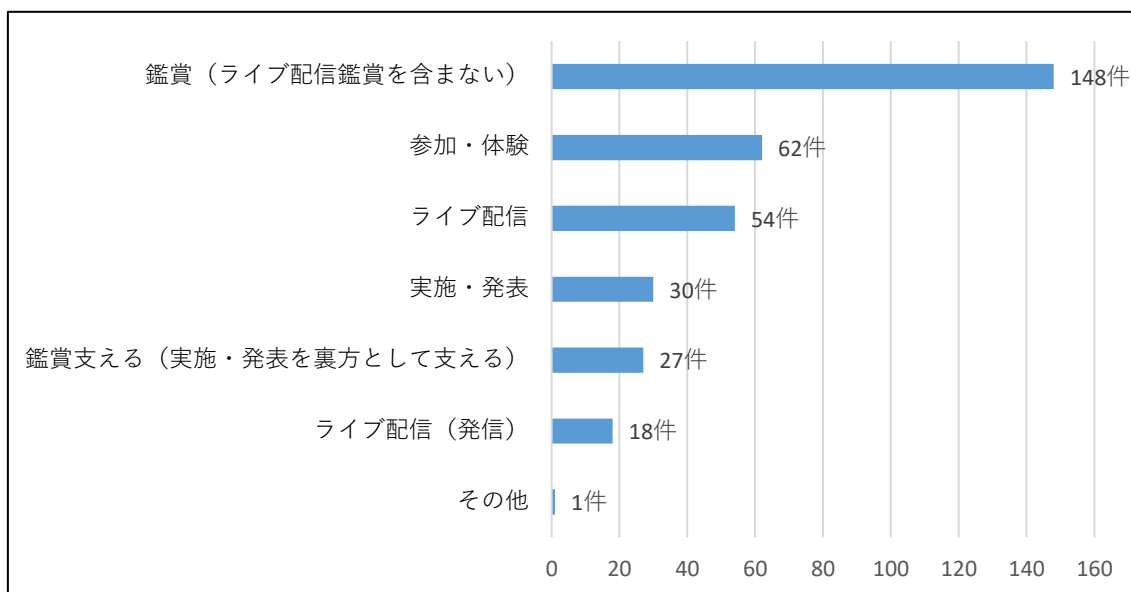


【その他ご意見】

- ・アジアとの交流関連、ベトナム アンサンブル コンサート

選択項目	回答数
映画	89
音楽(洋楽、J-pop、演歌などのポピュラー音楽)	80
美術(絵画、書、彫刻、工芸など)	65
演劇(現代劇、ミュージカルなど)	43
音楽(クラシック音楽)	41
アニメーション、電子機器等を利用した芸術など	31
文学(詩・小説・戯曲・随筆・文芸評論など)	27
触れなかった	20
雅楽、能楽、文楽、歌舞伎、講談、落語、漫才、歌唱	15
有形・無形文化財(建造物、絵画、彫刻など)	15
舞踊(バレエ、ダンス含む)	14
写真	13
茶道、華道、書道、食文化、囲碁、将棋	13
地域固有の伝統芸能、郷土芸能(山王下粉屋踊り、めかいなど)	4
その他	1

問4-1 文化芸術に、ホール・劇場、映画館、美術館・博物館および書籍などで直接、またはインターネットのライブ配信などでの触れ方は何ですか？

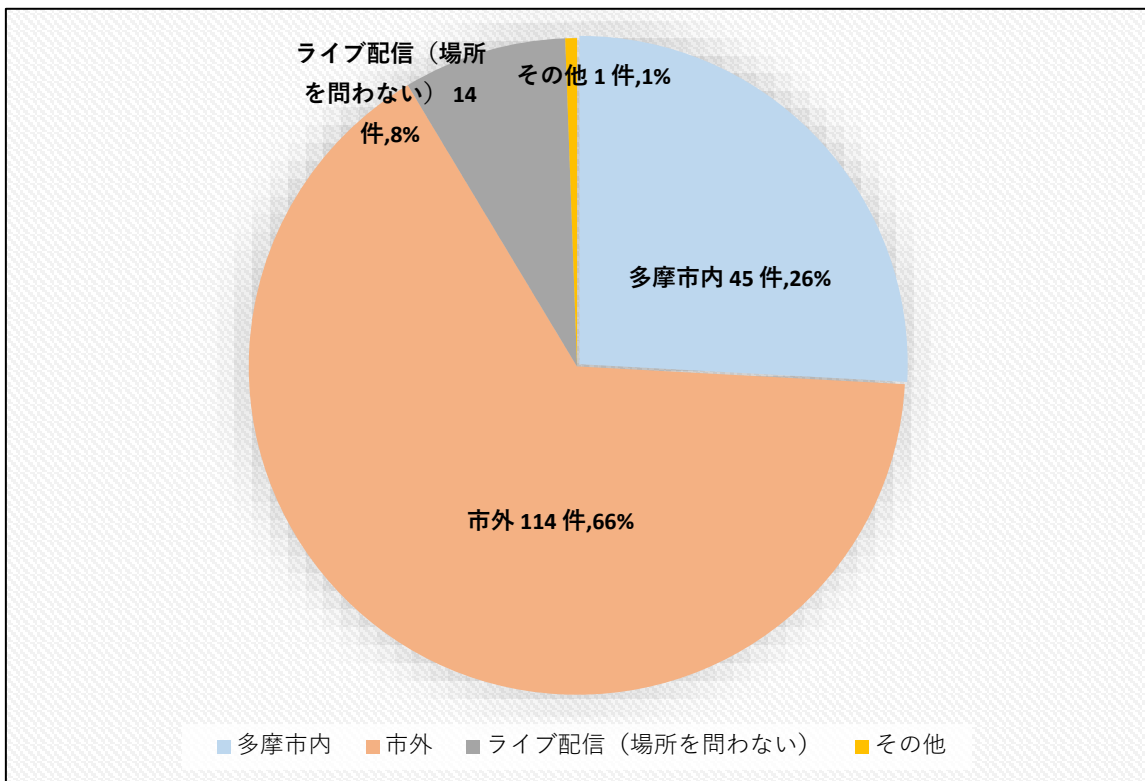


【その他ご意見】

- ・自宅で鑑賞

選択項目	回答数
鑑賞(ライブ配信鑑賞を含まない)	148
参加・体験	62
ライブ配信	54
実施・発表	30
鑑賞支える(実施・発表を裏方として支える)	27
ライブ配信(発信)	18
その他	1

問4-2 問4-1で回答した、文化芸術に触れた場所は主にどこですか。

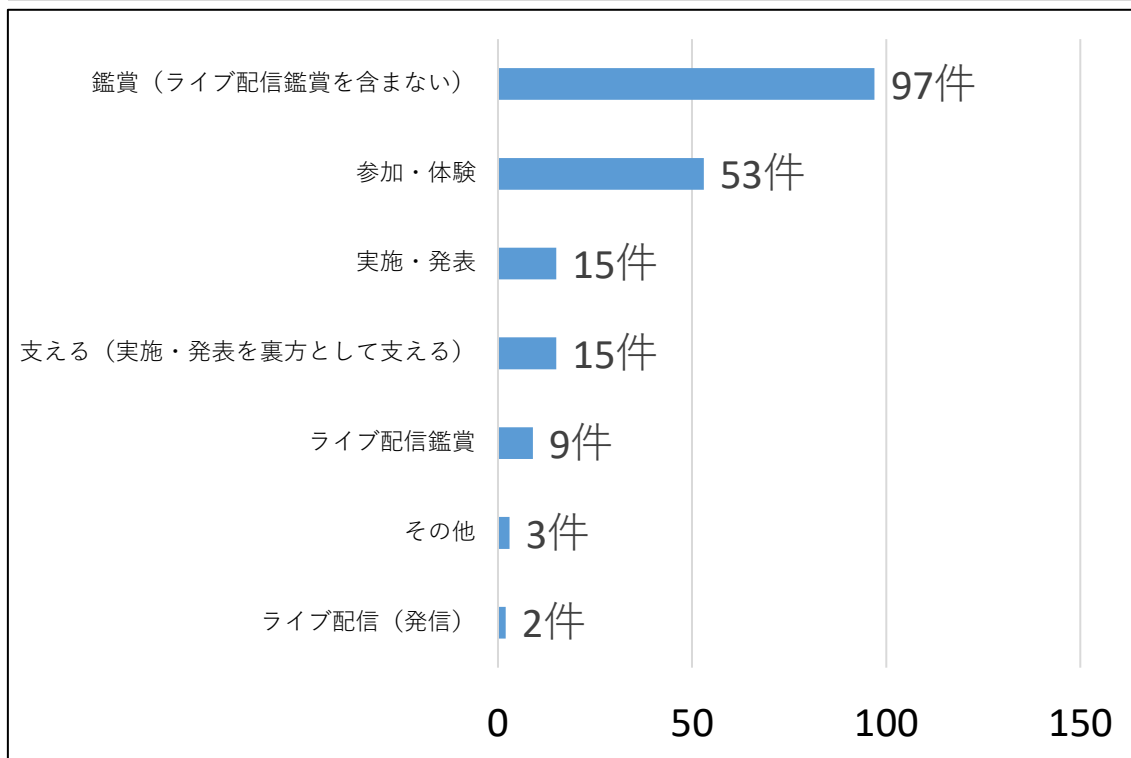


【その他ご意見】

・書籍、Spotify

選択項目	回答数
多摩市内	45
市外	114
ライブ配信(場所を問わない)	14
その他	1

問5 今後、特にどのように文化芸術に触れていきたいですか？

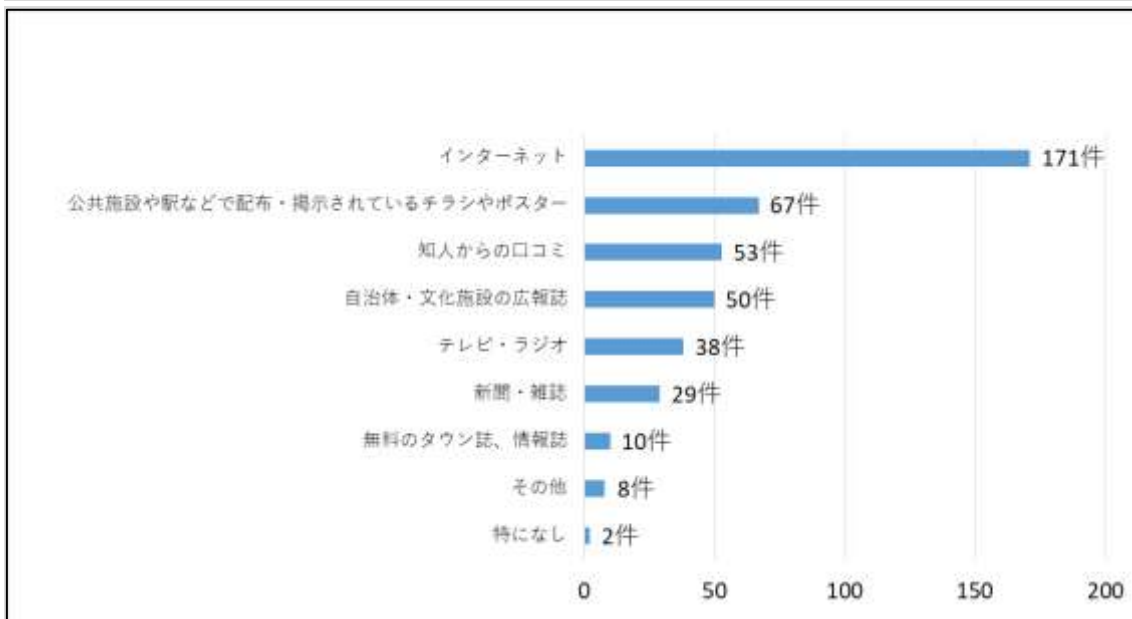


【その他ご意見】

- ・参加 「第九」合唱で参加したい。府中や立川ではあったが、多摩で見つけられず。あったかもしれないが、見つけられず(残念！)
- ・コロナで自粛していたが、興味があれば都心の美術館や博物館に行く。現状はTVやネットでの鑑賞が主
- ・なし

選択項目	回答数
ライブ配信(発信)	2
その他	3
ライブ配信鑑賞	9
支える(実施・発表を裏方として支える)	15
実施・発表	15
参加・体験	53
鑑賞(ライブ配信鑑賞を含まない)	97

問6 文化芸術に触れるための情報を主に何で得ていますか？

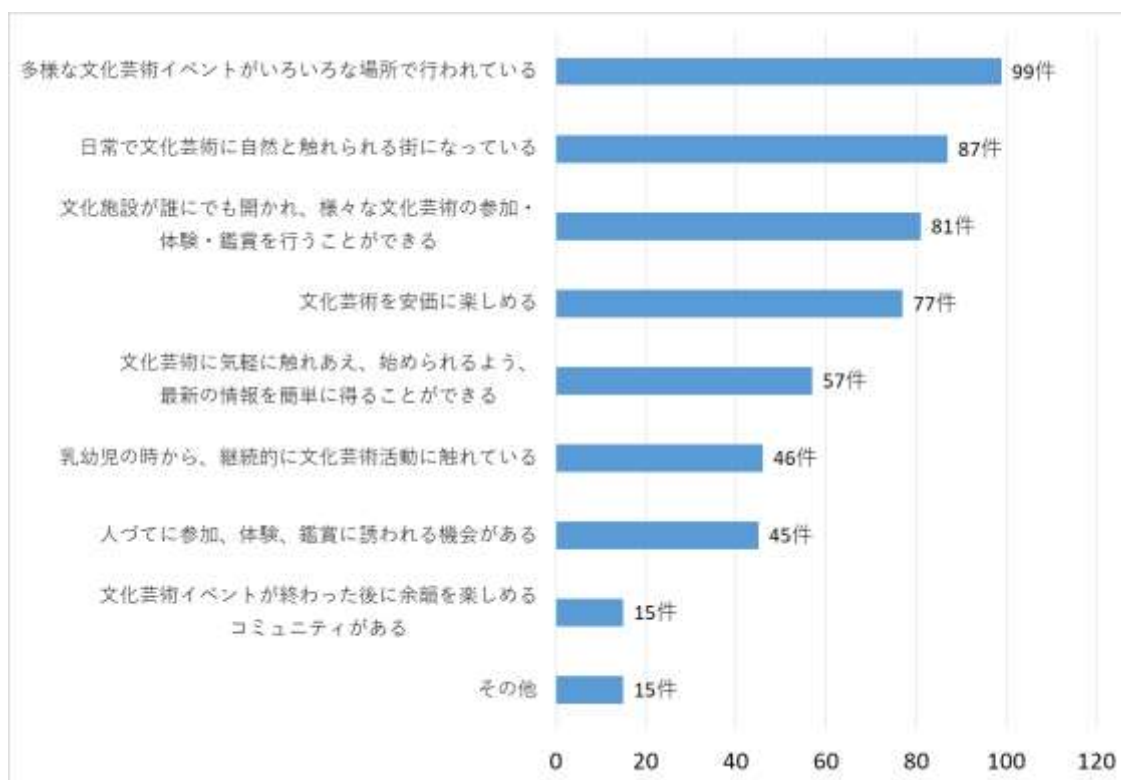


【その他ご意見】

- ・SNS
- ・出演者のSNS
- ・アーティストによる発信
- ・FCからのお知らせ(会報)
- ・施設のウェブサイト
- ・サイネージや動画サイト・インターネットのPR動画(ランダム広告)

選択項目	回答数
インターネット	171
公共施設や駅などで配布・掲示されているチラシやポスター	67
知人からの口コミ	53
自治体・文化施設の広報誌	50
テレビ・ラジオ	38
新聞・雑誌	29
無料のタウン誌、情報誌	10
その他	8
特になし	2

問7 どうしたら、文化芸術を身近に感じたり、触れやすくなると思いますか。



選択項目	回答数
多様な文化芸術イベントがいろいろな場所で行われている	99
日常で文化芸術に自然と触れられる街になっている	87
文化施設が誰にでも開かれ、様々な文化芸術の参加・体験・鑑賞を行うことができる	81
文化芸術を安価に楽しめる	77
文化芸術に気軽に触れあえ、始められるよう、最新の情報を簡単に得ることができる	57
乳幼児の時から、継続的に文化芸術活動に触れている	46
人づてに参加、体験、鑑賞に誘われる機会がある	45
文化芸術イベントが終わった後に余韻を楽しめるコミュニティがある	15
その他	15

【その他ご意見】

《提案》

・単独で参加することに加えて、「誘い合う」風土も大切かと。よほど強い意志がない限り人はくじけるので、「一緒に行こうよ」「一緒に行かない?」と「誘い合う」風土も大切かと。

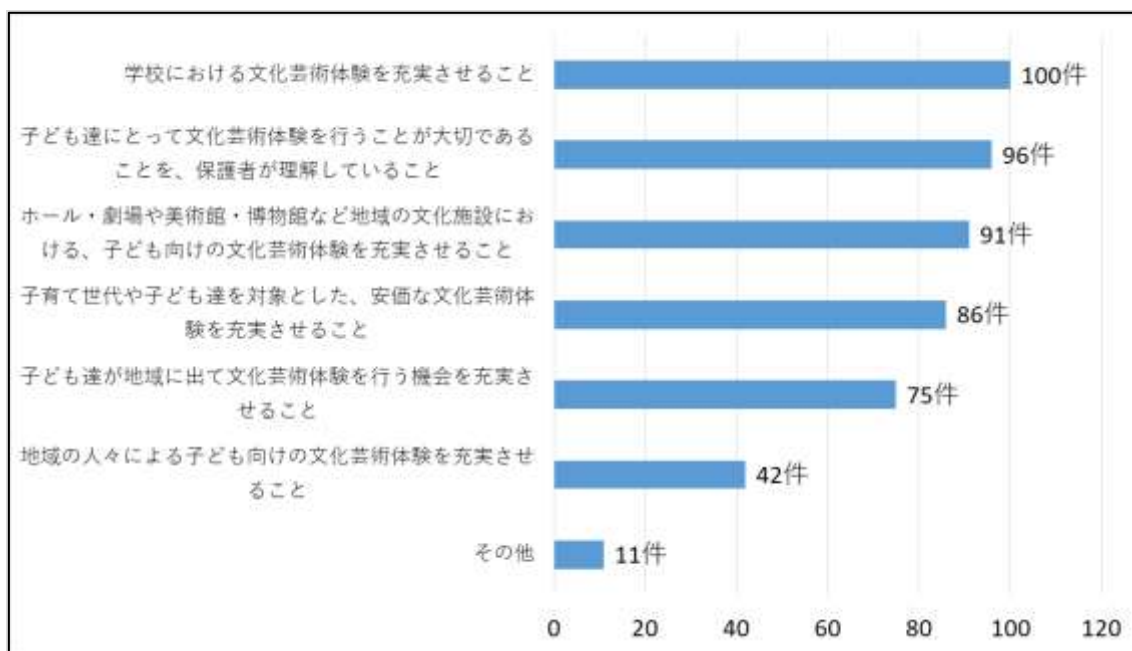
≪提案(続き)≫

- ・地域素材と連携する為のコーディネート技術
- ・楽しそうと思えるような告知、チラシの見映え・インパクトのある表現があるキャッチコピーが必要
- ・写真映えがする場所に触れる機会がある。
- ・SNSでの積極的な発信
- ・Youtubeばかり見ていないで、文化芸術イベントに参加・体験・鑑賞することが大人のたしなみであるかのようなイメージをCM等で植え付ける。
- ・文化芸術への関わり方や触れ方を自然と教わることのできる環境がある
- ・提供されるコンテンツが魅力的である。
- ・0歳から参加できるイベントのバリエーションが必要。

≪意見≫

- ・多摩市において振興すべきことは様々。文化芸術に特化した振興には賛同できない。
- ・本人の時間の余裕
- ・自治体単位で取組まず、広域的なエリアに拠点が点在していればよい。どの街でも開催されている必要はなく、例えば調布や八王子で実施されていれば地域的には十分だと考える。インターネットを使うことが当たり前になり、実際に会場へ足を運ぶ良さは理解しつつも、総じてその回数は減っていると思われる。リアルな拠点は限定し、ハコに必要な経費は減らす、そして内容と発信に力を入れるようシフトすべき時期だと考える。
- ・興味を持たせるようなしかけが必要。ニーズを掘り起こすこと。少なくとも、「伝統芸能だから」という理由で見に行く人はいない。文化団体が、自分たちの発表を自分たちの身内しか来ないような内容で「公演」として発表しているだけでは一生、裾野は広がらない。広げたいと思っているようにも思えない

問8 子どもの豊かな文化芸術体験に必要なことは何だと思えますか。



選択項目	回答数
学校における文化芸術体験を充実させること	100
子ども達にとって文化芸術体験を行うことが大切であることを、保護者が理解していること	96
ホール・劇場や美術館・博物館など地域の文化施設における、子ども向けの文化芸術体験を充実させること	91
子育て世代や子ども達を対象とした、安価な文化芸術体験を充実させること	86
子ども達が地域に出て文化芸術体験を行う機会を充実させること	75
地域の人々による子ども向けの文化芸術体験を充実させること	42
その他	11

【その他ご意見】

《提案》

- ・学校と文化芸術団体とを繋ぐコーディネート技術

・楽器や読書にしる、家庭環境が大切であることは各分野で活躍している人を見ればわかるが、なかなか難しい。その分、学校でそのチャンスを与えることも大切。さらに地域がそのチャンスを提供できれば理想的ですね！

・学校の負担ではなく、学校におけるアウトリーチやデモンストレーション等で子供達が実際に文化体験芸術体験できること。保護者だけでなく地域全体での文化芸術の居場所

的、自己実現としての役割の必要性の理解。

・どのような文化芸術体験があるかもっと知ることができる環境を調える。例えば学校でホームページや Youtube を紹介するプリントなどを配る。今の子供は文字よりも動画が受け入れやすいかなと思うので、Tiktok に興味を持ちそうな動画あげるなど。まずは、どんな文化芸術体験があるのかを知る環境が沢山あるといいなと思います。

・機会が多いこと。(多様な表現方法や価値観のものが数多く存在していること)

・練習できる場が用意されていること (ダンスや音楽のスタジオなど)

・親子で身近にアートを楽しめる環境作り、美術館を作ってください！

・場所や体験といった形式にとらわれないこと

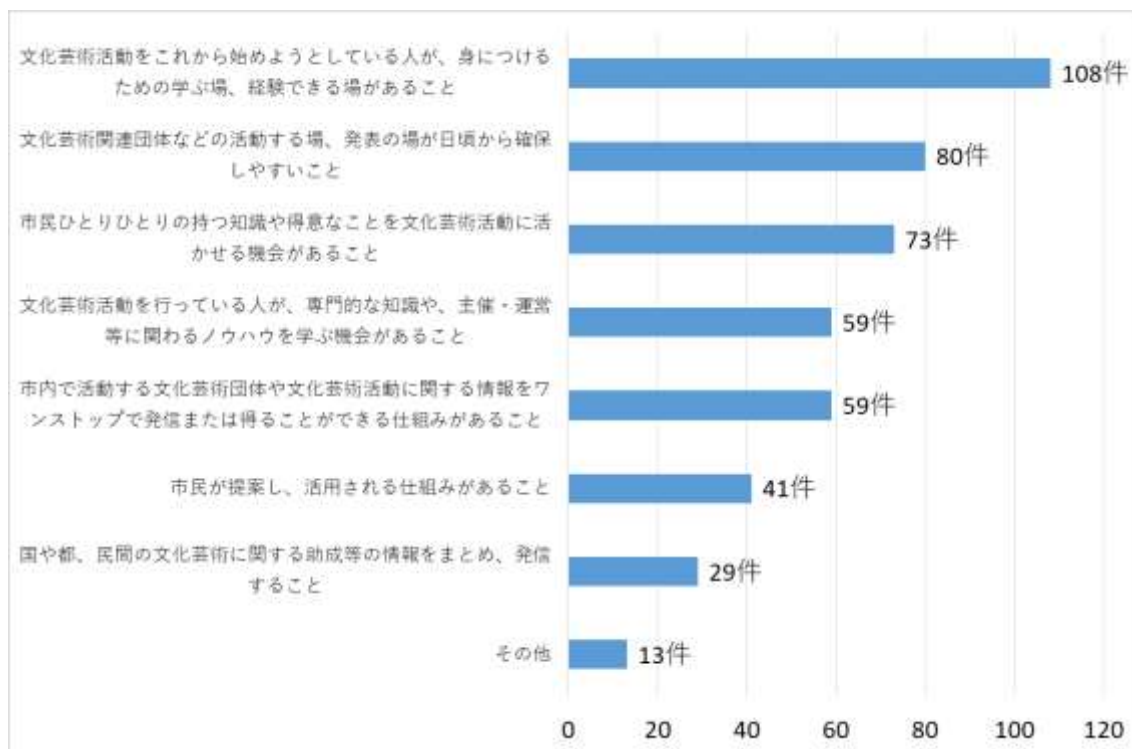
・子供用に変えられていない作品と出会う機会が子供時代にあること。

・イベントやコンサートや展覧会などで子供向けの「文化芸術体験」の機会を設けるのも大切だが、それよりも(生きている)アーティストが身近で活動を行い、その様子を見たり話したりするほうがよっぽど彼らと彼らの成長にとって貴重で豊かな文化芸術体験になるのではと思う。それと、まずは大人たちが文化芸術を楽しんでいる姿を子供に見せることが、子供達が文化芸術体験に興味関心を抱かせるのに重要だと思う。

《意見》

・子どもの豊かな成長には様々な体験が必要。文化芸術も大切だが、最優先とは思えない。

問9 市民主体で文化芸術を振興していくために必要なことは何だと思えますか。



選択項目	回答数
文化芸術活動をこれから始めようとしている人が、身につけるための学ぶ場、経験できる場があること	108
文化芸術関連団体などの活動する場、発表の場が日頃から確保しやすいこと	80
市民ひとりひとりの持つ知識や得意なことを文化芸術活動に活かせる機会があること	73
文化芸術活動を行っている人が、専門的な知識や、主催・運営等に関わるノウハウを学ぶ機会があること	59
市内で活動する文化芸術団体や文化芸術活動に関する情報をワンストップで発信または得ることができる仕組みがあること	59
市民が提案し、活用される仕組みがあること	41
国や都、民間の文化芸術に関する助成等の情報をまとめ、発信すること	29
その他	13

【その他ご意見】

《提案》

- ・文化芸術活動を行っている人や団体が活動しやすい条件や環境を整えること
- ・上記選択項目を達成する為の人材の育成
- ・自走するまで役所がお膳立てする
- ・ふとした気持ちで気軽にはじめられること
- ・若い人がやっていること
- ・練習できる場が用意されていること（ダンスや音楽のスタジオなど）

《意見》

- ・上記のことは全て当てはまると考えます。また、それらを習得して学べたり、練習したりする場所が少ないと感じます。
- ・一般論ですが、音楽・漫画・アニメ・映画・SNS・インターネットなど面白いコンテンツが山のようにあって個人時間の奪い合いなのに、その中で「文化芸術」を重んじよう・価値を重くしようとする意図があるならば、相当な仕掛けが必要と思います。個人時間を文化芸術に使ってほしいならそれだけ、たくさん供給する必要があるし、とにかく目に留まる・体験できる・興味をもつきっかけを少しでも多く作る必要があると思います。少なくとも、市民団体の発表の場をプロの公演に置き換えて安価に文化を提供する形にしないほうが良いと思います。プロと素人を混ぜるとその野は広がらない。
- ・関連団体登録制とすべき。個人発表の場を公に用意するのは費用対効果としても、税金使途としても公平でないと考える。
- ・市民の活動における文化芸術に特化した支援はいびつ。様々な活動への支援が重要。
- ・私のように今まであまり文化芸術に関わりがなくても、きっかけがなかっただけで、興味がないわけではないので、どういったものがあるか知れるきっかけがあると嬉しいです。

問10 その他、文化芸術振興について、あなたの思い・アイデアや市・文化芸術関連団体等へのご意見があれば、お聞かせください。

《文化芸術の場について》

・施設利用の際、ハードルが高く、誰でも気軽に利用しづらい。いつも決まった団体が利用していたり、利用申し込みが開催日の近日であったりもする。

幅広い芸術に触れられるよう様々な文化芸術を行ってほしい。

・文化・芸術を学んでいる学生や独立した芸術関連の若者が発表・展示・販売ができるスペースを安価で貸し出せるとよい（室内・室外）。学生割等。その催しを SNS で PR することもセット。多摩市のイベントは良くも悪くも真面目で硬い印象。安心だけど奇想天外さがない。

・私は画家をしています。他に多摩市内には国内外で活躍するプロフェッショナルな美術家が何人もおりますが、私や彼らが行政に頼って多摩市で「活動」するメリットは少ないようです。なぜなら現状では多摩市にはプロが市民の方々に作品を見せるような機会がないからです。

多摩市においてかなり長い歴史を持つ多摩美術家協会というものもありますが、伺った話では、販売目的ではなく市民に楽しんでもらうためのボランティアに近い展覧会も、パルテノン改修工事に費用がかかったため展示場にお金を払うことになったと聞きました。そのため会費負担が増えメンバーが少なくなるかもしれないことを危惧していると話を伺いました。多摩市みんなの文化芸術条例が施行されたにも関わらず、むしろ美術家の活動そのものを減らす方向に動いていることに驚きました。

せっかく多摩市に住んで制作している美術家がいるならば、日常的に制作の現場を市民の方々や子供たちに見てもらえるような場所を作るのはどうでしょうか。全国的に地方で見られるのは、廃校をアーティストのスタジオにし、オープンスタジオを開催し、地域に住む方々が制作現場を見て回るというようなシステムを導入しています。美術館やギャラリーで完成したものを見る機会はたくさんあっても、制作の現場に触れられる機会はめったにありません。学校の美術の授業に取り入れてもよいかもしれません。子供たちに、世の中には多様な人間がいるという理解、将来の生き方として様々な可能性を提示するという意味でもよいと思います。廃校やほとんど閉店してしまった団地商店街などを使えば、予算を少なくできるメリットもあります。

・文化芸術の振興には、身近にあるということが大切だと思います。街の中にゆったりと本を読んだり音楽を楽しめるカフェなどの場所がある。小さくても生の演奏や演劇、ダンスやバレエが見られるホールがある、お茶や生花、和楽器など伝統文化に触れる機会が定期的にあるなど。多摩市はどれも出来る環境にあると思うので、これをもっと多

摩市の特長として打ち出し、市民に浸透していくといいかなと思います。大きなホールがあっても市民に文化的意識がないと活用されません。また市民が文化芸術になじむことは、多摩市の豊かさに繋がることにもなります。このたびこのようなアンケートを用意して下さった事自体、素晴らしいと思います。

・文化芸術は極端なことをいえば、人間が生きていくうえでなくてもよいものと考えがちだが、実際には充実した人生を送るうえでは極めて大切なものだと考えている。しかし、何がどのように大切なのかは説明しにくい。何でもスマホで手軽にみられてしまう現代では、美術館で実物を見なくても、画面を通して見た気になってしまう。絵画に限らず、文学にしても伝統芸能についても、およそ文化芸術に定義されているものすべてやはり本物は違う。本物を体験するには手間と時間がかかるが、本物には手間と時間をかけるだけの価値がある。日々の生活にいっぱいいっぱい、文化芸術活動はぜいたくなものとなっているのかもしれない。それでもなくても困らないものを一生懸命やっている人たちは応援したい。そのような人達には発表の場を提供するという形でサポートするのが良いと思う。ただしコンテンツは有料で。自分たちの芸術を無料で提供してはならない。無料で提供できるものならばもともと価値はないと思うので、少しでも良いからきちんと料金をとってほしい。売れるまでは活動費も賄えないだろうから、施設使用料を無料にしたり少し減免したりしてあげるのは良いと思う。

・小さな場でもよいので発表の場所があるとモチベーションに繋がるし文化が衰えないと思います。

・市内で「森は生きている」や日本語で歌えるオペラ、歌芝居を気軽に出来る仕組みを作り、市民が心も身体も解放して歌って表現する場がほしい。発声や呼吸を常に教えてくれる場も作り心身ともに健康的な活動に繋がることを望む。

それが、オペラや歌芝居をみんなで作ることが一つだと思うので提案としたい。

・公園を使った視点

都内や東京郊外で昨年行われたイベントはとても人気だったようです。

多摩でも中央公園や桜ヶ丘公園など広々とした公園があるので。着物女子も増えているので楽しそうだなあと思います。

・小規模でいいので、美術館が（レンタル展示スペースとは別に）あればなど。

余談にはなりますが、多摩美大の施設が美術館でなくなるのは実は市民にとっての結構な損失だと考えています。『美術館』と名の付く施設が市内にあることは、市のイメージ向上にも寄与するはずで。

コレクションを持っていなくても、はっきりしたコンセプトを据え、企画次第でいい施設になると思うのですが…。

・平日夜間の催しを増やしてほしいです。

接客業など土日祝日休めない人はいつも置き去りです。

仕事帰りの人も含めて 18:30 以降のなんらかのプログラムも需要あるのでは？

落語、講演、絵画展示などの特別夜間開館（たとえば大人だけで）、図書館なども利用して朗読会など。

《パルテノン多摩等の文化施設について》

・普段から歌舞伎・演劇・J-POP・落語等をかなり頻繁に都心に観に行くが、例えば落語はパルテノン多摩や公民館に人気落語家（志の輔、志らく、談春レベル）をなぜ呼べないのだろうか。また、世田谷パブリックシアターのように、公立でも日本中から一目置かれるような劇場は作れるはずなのに、なぜ、有名な舞台が通し公演などをできないのか残念でたまらない。パブリックシアターに手が届かなくても、狛江エコルマホールやルネこだいらなどは古典芸能を数多く招聘して名を馳せている。多摩市でも過去には夢の遊民社が長期間開演していた。劇団・新☆感線はさすがに無理だろうが、シスカンパニー、NODA MAP、大人計画などが呼べないか？歌舞伎も本公演を継続するのは当然望めないが、勘九郎・七之助の錦秋公演や若手演者による公演なら可能性があるのでは、とも考える。行きたいと思えるような魅力的な文化芸術公演が市内で開催されることは全く無い。市内で体験できるのはイオンシネマでの映画鑑賞だけである。月平均でだいたい3～4本、年間40本以上は前述の芸術に触れているが、市内の施設で芸術を体験できたのは30年以上前の、夢の遊民社のパルテノン多摩屋外ステージが最後である。

・去年、新しくなったパル多摩で公演をさせていただきましたが、以前より使い難くなっています。特に受付事務の対応。

それと一階入口が閉まっているので、外階段で上がり、二階からエレベーターで降り楽屋に行く。これを何往復もして、足が悪い私には厳しかったです。荷物の搬入にも苦勞しました。せめて入館時の僅かな時間でも一階入口を開けて頂けないでしょうか？

パル多摩は文化振興財団、受付は外注とわかっていますが、市の方からもご指導頂けたらありがたいです。立派なホールがあり、意欲的に活動している団体も多数ある多摩市です。文化芸術の町と堂々と言えるようになりますように。

《文化芸術の情報発信に関することについて》

・先日、パルテノンでの公演に伺いました。とても素晴らしい公演、しかも一流のアー

ティストの公演だったにもかかわらず、あまりの空席の多さに驚きました。もっと沢山の方々に周知出来るような、チケット代が少々高くても「行きたい！」と思わせるような告知の仕方があればと思いました。パルテノンホールはとても素晴らしいホールですし、多摩市には沢山の子供が住んでいるのだから、幼い頃から芸術に触れるチャンスに溢れている環境を最大限生かして頂きたいと思います。普段から例えばピューロランドのように、「パルテノンホールはいつもワクワクするような素晴らしい公演を行っている」と市内、市外問わずいつもチェックされるような発信があれば良いと思います。

- ・多摩市内のギャラリーや美術館、博物館、文化施設等でどのような展覧会・イベントが実施されているかが一覧で観られるようなページがあると嬉しいです。(年間スケジュールで)

- ・個人的に、毎日好きでよく聞くラジオで、いままで興味なかった映画の情報を聞いたことで観に行きたいと思うようになりました。やはり日常的に触れるメディアやよく会う人を介してだと、新しい文化芸術に触れるきっかけになりやすいように思います。

- ・パルテノン多摩や公民館が日常の生活圏（通学や通勤）の経路上に無いため、リアルタイムで今何をやっているかが分かりにくい。わざわざホームページで探すのではなく、日常目の付くところにポスター掲示があると良い。

- ・岡崎市の東海オンエアさんのように、多摩市発の子ども・若者向けの娯楽 Youtube チャンネルが出てくるよう促す活動をしてはどうかと思う。子どもから大人までたのしめる文化芸術振興 Youtube チャンネル。

- ・無数にある多摩市内の文化芸術サークルや団体、教室をみんなが1つの発信元から親しみを持ちながら受信、自分が参加している団体、他の人が参加している団体、お互いを理解、応援しあうしくみづくり。

- ・文化芸術にしる、スポーツや勉強にしる、何かに興味を持ったときにスグにその事について調べて行動することがしやすいネットツールなどがあると良いと思います。子どもからお年寄りまでが使いやすいと良いです。

- ・多摩市で25年間、クラシック音楽団体の活動をしています。

多摩市には地域振興のために意欲的に活動しているアマチュア団体がたくさんあります。

しかし、これらの団体の情報を得る機会がほとんど無いです。新しくなったパル多摩は

ニュースにもネットにも公演情報をいれてくれないので、いつ、どの団体が、何の公演をやっているのか、全然わかりません。地域新聞か、各団体間での案内に頼るしかないです。

市の掲示板に貼らせて頂けるのはありがたいと思います。ベルブにチラシを置かせてもらえ、結構お持ち帰り頂けているようですが、コミセンに置かせてもらうには色々制約があります。以前のようにパル多摩ニュースやネットで情報を発信して頂きたいです。市の広報は参加費や入場料の安い物しかダメなので、ちゃんとした公演活動をしている団体は載せてもらえません。助成金もなく自主開催するには入場料も少し高くなります。(2000円～3000円位)

それでも、みんな参加費等の持ち出しでやっています。パル多摩には後援やら共催やらの制度があるらしいけど、どういう条件でいつ申し込めば良いのか等、何も発信されていないので、いつも特定の団体しか使えていないようです。どうしてこの団体はいつも使えるの？と不思議に思っています。

《文化芸術に気軽に触れられることについて》

・文化芸術というと、「お金がかかる」という意識が先行するので、もっと気軽にふつうに触れるチャンスが大切かと。

例えば「歌う」にしろ「描く」にしろ「踊る」にしろ、敷居が高い。昔の盆踊りのように、気軽に飛び込んでいける雰囲気（空気）が欲しいかなと。私の場合、年金が少ないので、入会金や会費、参加費もネックです（涙）

・芸術に触れてみたい、機会も作りたいけれど、なかなか初心者優しく教えてくれる所が見つからないことが多々ある。そういったハードルが少しでも下がるだけで芸術に触れる面白さを感じてくれる人が増えるのではないだろうか。芸術に携わっている人と触れてみたい人が集まる機会が増えたら良いなと思っている。

・気軽に、身近な場所で日本の伝統文化や芸術を体験できる講座やワークショップのようなものが頻繁に開催されていればいいなと思います。また、遠くまで出かけなくても身近なところで本物の伝統文化や芸術を鑑賞できる機会が多くあればいいと思います。

・子どもたちは、学校で文化芸術に触れる機会がたくさん確保されることで、自分の関心が何に向いているのか、体験から知ることができて良いと思います。親が誘ってみても、参加・体験してみようと気軽に思ってくれる子どもばかりではないと思うためです。

また、文化芸術に関心があっても、ハードルが高いイメージがあるためアクセスが難しいと感じています。関心があるけど、どうしたらよいかわからない、参加してみたいけど、初心者だから参加しづらいなという気持ちに対応できるような行事やイベントが

あると良いと思います。

初心者講座に参加し、知り合いができて輪が広がっていくような自然なアプローチができれば、個人的には、自分の余暇時間の一部を文化芸術振興に費やしてみたいと考えています。また、働いている人や子育て中の人にはたくさん余暇時間があるわけではないので、短時間でもよいから参加できるような人手集めなどの情報発信があるとアクセスしやすいのではないのでしょうか。

- ・気軽に楽しめるきっかけがあればいいと思います。

- ・気軽に参加しやすい文化イベントがあると良い

- ・印象として文化芸術というと敷居が高く感じるが、音楽ライブやコンサートに行く、映画を見に行く、などと考えれば多くの市民は何らかの文化芸術に触れているんだなとアンケート回答の中で感じました。

アンケート項目からは文化芸術を身近なものにしていきたいという意図が感じられました。一方で大規模改修を行ったパルテノン多摩は大ホールなど「身近」というよりは「本格的」な施設の印象を持っています。スポーツで言えば国立競技場で身近なスポーツはしないのと同じことかなと。休日やイベントなどとあわせて身近に感じられる、他の目的できたけどたまたま文化芸術と触れ合える、そんな風景があると良いなと感じました。そこをきっかけに文化芸術への興味がわきその結果として本格的な施設に足を運ぶ人も増えるのではないかと思います。

- ・敷居が高いと思われがちな「芸術」、参加までのハードルが下がると良い。

- ・様々な活動に興味があり、参加したいとも考えていますが、なかなか時間がとれません。退職後に時間がとれるようになったら逆に腰が重くて新しいトライはできないかもしれません。なので、常に今でしょと思っていますが、新たな場に一步踏み出すには勇気が要ります。一步踏み出すためのハードルを下げる工夫が必要だと思います。本格的な文化芸術の触り部分の一番おいしいところだけを無料もしくは安価に体験・お試しできる場の提供やそれらの情報を体系的に発信していただけるとよいかもかもしれません。

- ・文化芸術が振興されるためには、文化芸術が日常の生活のなかに入り込むことが大切だと考えます。そのためには、「いつでも」、「どこでも」、「費用があまりかからずに」、が条件になると思います。

また、なじみのないジャンルに触れるには、何らかのきっかけがないと、一步を踏み出すことが難しいと思います。そうして、多くの人が文化芸術を衣食住と同じように生

活に必要だと思うようになる事が、文化芸術の振興に繋がっていくと言えます。

・セッかくパルテノン多摩のような本格的な施設が市内にあるので、規模が小さくてもいいので一流の芸術と接触できる機会を増やすことが市民の文化度・知的経験の向上に繋がります、ひいては市全体の価値の向上にもつながると思います。

《無料または低価格での提供について》

・無料で子ども向けのイベントの開催をお願いします。

《子どもの文化芸術について》

・多摩市には、パルテノン多摩という素晴らしいホールがあり、ファミリー層にも人気のエリアなので、沢山の子どもが気楽に入れるようなコンサートを実施し、沢山の目に触れるように宣伝をして、情操教育も、し易い環境を更に作られるのが良いかと思えます。

・子育てを通じて舞台芸術に触れる機会が増え、親子で豊かな時間を過ごすことができます。セッかくのパルテノン改修を無駄にしないよう、たくさん一流の芸術団体を呼んで、一流のものからローカルなものまで気軽にたくさん触れられる機会があるようにしていただきたいです。子ども達は本当に感受性が豊かです。幼児期から高校生大学生までたくさんの体験ができると人生も豊かになっていくのかなと思います。

・若者世代の呼び込みと合わせ、パルテノン多摩での未就学児が鑑賞できるコンサート等をさらに充実させてほしい。

・先日長野県松本市で観劇した、子どもとご家族向けのお芝居がとても良かったので、参考になるかわかりませんが、記述いたします。参加型の作品で、席が固定されておらず、舞台中心に半円に囲んで座っており、「静かに座ってみななければならない」ということを強要されないため、子育て世代の方も観劇しやすいと思いました。内容も子供向けで、複数の楽器で生演奏され歌やダンスもあり、かわいい作品でしたが、十分大人も楽しめるもので、観劇後に親子で内容について感想を話すなどあったらより深まると感じました。値段も安価で親子で参加しやすかったのだと思います。実際、芝居が始まると、観劇前はしゃいでいた子供たちが食い入るように観ていたのが印象的でした。地元の演劇団体が主催のようで、小さいころからこのような機会に触れられれば、芸術は敷居が高級なものという感覚がなくなるのではないかと思います。文化芸術活動を通じてより市民の生活が豊かにしたい、という気持ちで入庁したので、少しでも貢献出来たらうれしいです。

・都内に行ってお金を払えばいくらでも文化芸術と接触する機会がありますが、経済的・時間的理由（また、まだまだ続くコロナ禍による遠出の機会の自粛など）によりその機会を得づらい人や、家庭に文化的土壌がまるでないため機会を得られない10代の人たち向けの企画こそ、地元でやっていたらいいなと思います。（芸術否定派の親はそう言った理由で子が外出することを許可しなかったりしますし）そして学校授業での見学先にも使うといいと思います。

・子供には子供向けだけでなく、圧倒的な芸術体験（雷が落ちるような）も大切なので、一流の舞台を解説付きで観賞できたり、絵画を解説付き+喋りながら観られる日があったらいいですね…。

《ご提案》

・伝統芸能である能の公演が年1回位多摩市であっても良いと思う。他の区・市で毎年行われている所も多い。多摩市でも過去に、パルテノン多摩で薪能が行われたと聞きます。是非、これからの多摩にも能が根付いてほしい。

・いつも市内の施設利用でお世話になっております。

私は多摩市にきて3年と少しになりますが、文化芸術活動で行っている「アラブ・オリエンタル」地域の文化芸術をもっとたくさんの人に知って欲しいと考えております。

現在、日本でも踊られているオリエンタルダンス(またはアラビアンダンス、ベリーダンスと呼ばれている)のルーツを遠いようで近い関係のアラブ圏の歴史を含めて、踊りをやっている人はもちろん、それを知らない人にも解りやすい流れで文化に触れてもらいたいと思っています。

カルチャー教室などでは、踊りの内容も曖昧な表現が多いため、本来の表現を知ってもらう良い機会になると考えています。

多摩市での活動はまだまだ少ないです。近年、文化芸術関連として、日本の舞踊や和楽器、太鼓などの人気が出て来ていることは素晴らしいことと思います。それらの芸術も含め、そして今後たくさんの外国人との交流ということも含めて、アジアやアラブなどの文化芸術も一緒になって開催出来るようなイベントや催し、鑑賞会などがもっと増えていけばと考えています。

ただ、その芸能の踊りの練習なども、他のダンスと同じように考えられてしまい、「ダンス」というだけで場所の確保が出来ず練習出来る場所が少ないのも現状のような気がします(音がうるさいとか言われます)。

インターナショナルな文化芸術イベントの開催が出来るのなら、ぜひお手伝いしたい

とも考えています。

・先日文化と芸術のワークショップに参加させて頂き、とても有意義な時間を過ごせました！ありがとうございました！

話し合ったことをもとに改めて検索したり、市内の様子を見てみて気がついたことをご連絡しておきます。

まず多摩市について検索してみると、いろいろな情報がわかりやすくなっていることに感動しました！ではなぜこれが知りたい人に届かないのか？

検索してもらっきっかけがあるといいのだと思います。聖蹟桜ヶ丘を歩いていると経済観光課が行っているまち歩きの張り紙のバーコードをスキャンしている人をよく見かけます。何かあったかい感じのポスターに、多摩市のこことここを検索して、とか、ここから調べてとあると、結構市内外の若い人たちも見てくれるんじゃないかなと思いました。

若い人は音楽や話し合いの場を求めているけれど、どこに行ったらいいか、どう調べたらいいかわからないと言っていました。市内にはいい公共施設もたくさんあります。もっと若い人たちにも活用してもらえたらと思いました。

コンパクトで住みやすい多摩市が小さな幸せにあふれる街になるよう今後もなにかありましたら小さな声を届けられたらと思っています。頑張ってください！

・そもそも文化芸術振興がどういったものかや、盛んになる事でどういったよい事があるのかがよくわかってないです。私のような知識のないものが勉強できる、チラシやHPなどがあると嬉しいです。また、最初から参加というのは少し敷居が高いので、まずは活動の様子を動画などで簡単に多くの人目に留まるような仕組みがあると嬉しいなと思います。インターネットなら大人から子供まで、どこに住んでいても、自宅で見られるので、(特に子供だと Youtube でしょうか？自分たちで作らなくても、すでにある動画を(許可をもらえたら)紹介するのもいいと思います。)それを見て興味が湧いたら、次は実際に参加してみたいという風に人が増えるのではないのでしょうか？

・音楽に関して

多摩センター、聖蹟桜ヶ丘等で、駅またはストリートピアノを設置し、有名 youtuber を一度招き演奏してもらおう。(許可制で)路上ライブを行えるようにする。(ウィーンの街のように)

映画等に関して

「耳スマ」、「1週間フレンズ」聖地巡礼者は今でもいるが、多摩センター方面まで行かないので、何かの映画ロケを多摩センター周辺中心に行うよう誘致する。

多摩センター周辺が出てくる原作アニメがあれば一番良いが。

巡礼者が半日程度でゆっくり回れるように、スタンプラリー付マップに休憩しやすい店等を、掲載する。

せっかくパルテノン多摩があるので、アクセスがよいその周辺を文化の中心にして、聖蹟桜ヶ丘と線で結べるようにする。

多摩市程度の規模であれば、あまり分散させずにまず「拠点」を作ることが最優先である。

- ・市や特定の団体が手掛ける文化芸術振興は伝統的なものに偏りがちである。若者が関心を示すような新しい文化、ダンス、DJ、フリースタイルのラップ、エアロゾールアート、などの分野にも広げるとより関心を集めることが出来ると思われる。

- ・たまロケを市民が活用できる、市民のアート作品を市が公園等で展示、保存できる仕組み、日常的に市民が芸能を披露できる heaven's artist のような仕組みがあると良い

- ・文化芸術を推進することが目的なのではなく、文化芸術を推進することで市の雰囲気を変え、市政を良い方向に変えていくことが目的だと思っています。一方で、文化は手段にせず、文化そのものを心から追求したり楽しんでいくことが必要で、そのために必要な支援ができるのが良いのかと思います。

また、個人的なアイデアについて、様々な市民のニーズを満たすことも必要かと思いますが、文化によって、「多摩市と言ったら〇〇」のようなイメージ作りができるの良いのかなと思います。例えば、多摩市は様々なロケ地があったり映画祭も開かれていたりするので、多摩市と言ったら「映画に触れ合える街」とかも良いのかなと思いました。

- ・多摩市の民話を絵本やアニメにしてまとめる。小学校の学芸会用の台本をつくり活用できるようにすれば、子どもたちに浸透すると思います。

- ・公民館や多摩市主催の子供ミュージカルや品川ジェンヌのような多摩市民なら誰でも参加出来るような行事が有ると良いと思います！

- ・多摩市を拠点とする芸術家です。多摩市にはパルテノン多摩内に市民ギャラリーがありますが、府中市美術館や相模原市民ギャラリー、町田市立国際版画美術館のような、学芸員が企画し作品をコレクションするような規模の美術館が無いので、せめて相模原市のアートラボはしもとのような形で、多摩市に住む、もしくは活動するアーティストを支援するような組織が欲しいです。

多摩市に文化芸術にかけるお金がほとんど無いことは理解していますが、「多摩市みんな

な文化芸術条例」というならば、文化芸術の能力を深く理解し上手く活用して「文化芸術に特化した地域」のような、アーティストが生活活動しやすく、創造性豊かで、多くの 人々を魅了し、活気ある街になって欲しいです。

コンサートやイベントや展覧会などは、どうしても都内の方が魅力的な内容が集まってしまうのですが、多摩市はアーティストが練習したり制作したりし易い場所になってくれたらと思います。文化芸術は、練習や制作活動の過程に、人々を惹きつける魅力や可能性がありますが、それがあまり上手く活かされていると思えないので。

《ご意見》

・「文化庁の文化庁活動の地域以降に関する検討会会議提言」を受けて、多摩市ではどのような取り組みができるのか、このような機会に市民全体で地域の問題として、子供達の幸せ、ひいては多摩市全体の幸福度を上げていく活動として取り組んで欲しいと願っています。

幸せな人生を送ること、QOL を上げていくことを多摩市全体の目標として実現できたら素敵な魅力ある街になると思います。

子供達は画面や IT 機器を介した体験ばかりをしています。コミュニケーションの難しさは体験の少なさから失敗することへの恐れなど、ますます人と人とのふれあいが避けられて行くのではないのでしょうか。子供達の居場所はどこにあるのでしょうか？子供だけではなく若者も大人も高齢者もです。みな自己実現を求めていくことで生きる意欲や心の平安へと発展していけると思うのです。その大きな役割を文化芸術は担えると思います。物理的にも精神的にも居場所になると思います。

個人個人の活動を支えるための受け皿と同時に、大勢が集まってする活動、音楽で言えば合唱、オーケストラ、吹奏楽等になるかと思いますが、大がかりなものこそ市の支えを必要としています。市民が参画して作っていくしくみを土台に、市民の理解と支持、意欲が問われると思います。ヨーロッパのように文化を国、都道府県、自治体で支えて行く仕組みを作るのは難しいことでしょうか？多摩市からしくみを作って発信できたらステキですね！他の市でも取り組んでいる市もあるかもしれませんね。情報収集・アセスメントをして十分検討して文化芸術の息づく街に発展して欲しいです。多摩市は緑が多くそれにふさわしい街だと思います。

・歴史を見れば、文化のあるところに人は集まってくるし、産業も活発になることが理解出来ます。ですので、多摩市が文化条例をつくって、「文化の薫り高い地域」を目指すのは、市や市民の未来にとって、とても良いことだと思います。

大切なのは、この地域に根ざす文化や芸術が育つことだと思います。立派な施設を建設したり、著名な芸術家を招いてイベントをすることで、文化的な街に見えるかもしれませんが、それで文化が育つわけではないと思います。

これからは人を育てることに目を向けることが大切です。そのためには、有名ではなくてもこの地域で文化活動をしている人たちを大切にすることです。

そのためには教育や文化施設の予算を増額したり、人員を増員することも必要だと思います。予算が不足しているなら、地域で文化芸術に貢献する活動をしている文化人や文化団体、文化に理解・関心のある企業に協力してもらおうというのも良いと思います。私は市内の文化団体と関わりがあり、同時に文化芸術を積極的に支援している企業の経営者とも親交があります。その方々から伺うお話からは、支援を打ち切られた話であるとか、積極的な貢献を申し出ても放置されてしまった話など、多摩市が積極的に文化芸術を発展させようとしているとは正直、思えないところがあります。

私たちは多摩市の人口が減少し、特に若者が減って、企業や商店が撤退している現状から将来を考えると、危機感を覚えます。多摩市は都心へのアクセスも良いし、緑豊かな良い環境であるにも関わらずです。

そのような意味から、多摩市が今後文化芸術を大切にするというのは重要な政策だと思っています。それが形だけのものにならないように願います。

・もし多摩市が芸術文化条例にあるような、本当に文化芸術を大切にす街を目指すのであれば、地域のために地道に活動している芸術文化関係者や団体を大切にしたいと思っています。実際には、支援は縮小されており活動休止に追い込まれています。立派な施設や条例があっても人を大切にしなければ文化芸術は育たないし、人は離れてしまうのもったいないと思います。

・長年活動している団体、個人にかかわらず新しい感覚を持つ新しい団体にも機会が与えられますようお願いしたい。

なんとなく、強い発言力を持つ代表者の意見に左右されるように感じます。長年活動なさっている方々が、新しい感覚に拒否反応を持たないように願っています。声を出すイベントはコロナ罹患防止から拒否されていますが、フリースペースでのオペラなど野外オペラもパルテノンの階段下などで可能ではないでしょうか。子供から合唱団まで一緒に参加可能な作品もあります。

声楽コンサートも永山や関戸公民館で復活させて頂きたいですね。

・多摩市らしさを感じられる活動が生まれると良いと思います。多摩には、〇〇があるよね、というような。

・多摩市でなぜ文化芸術に特化して振興策を実施するのかわからない。市が抱える問題に対する解決策になるのか疑問。少子高齢化対策、就職機会の増加による若者の流入促進、教育の充実など、もっと取り組むべき重要な課題があるのではないかと。文化芸術団

体は市の振興策に頼らずに運営できる方法を考えてほしい。「多摩市に関わっているすべての人が同じ方向を向いて文化芸術を振興していく」などは止め下さい。「すべての人が同じ方向を向いて」などは恐ろしい言い方です。「多摩市のあるべき姿・ありたい姿」の表現を文化芸術を通じて行うとは、非常に奇妙な考えの様に思う。「多摩市のあるべき姿・ありたい姿」は総合的に、多面的に、多様性をもって検討すべきこと。このようなアンケートなどで市民の意見を聞いた上でであっても、文化芸術の将来像は市が策定することではない。

・文化芸術振興にあたり、条例制定など必要でしょうか？魅力的な文化芸術、芸能ならば個人の価値観によって見に行くと思われれます。それでなければいくら見るように仕向ける、広めようとしても直ぐに見なくなると思います。これだけデジタルコンテンツが多くなっている今、見せる側が自分自身で考え発信する必要がある、そこに条例制定し後押しするとしても息の長い文化芸術は浸透しないと思います。

・多摩市は豊かな資源（人材、施設）を抱えながら、その資源を有効に使いこなす施策・アイデアにかけていると思われれます。商業的なイベントは都心にまかせ、この町に住む人々誰もが豊かに暮らすことができる施策を展開いただければと願っています。

・インターネットの普及により、幅広い世代の方が多くの文化芸術に触れる機会が出来ていると感じる。その分、昔からある文化芸術だけではなく、様々な選択肢から好きな文化芸術に触れるため、特定の文化芸術を今以上に振興していくことは難しくなるのではないかと思う。その上で行政として何をすべきか考える必要があると思う。

・一部団体のためだけの文化芸術は不要であると思いますが、その文化芸術自体の担い手はその団体しかいないのであれば致し方ないのかな、とも思います。ただ、流行り廃りがあってこそその文化芸術だと思っていますので、完全に廃れてしまうことが悪なのではなく、それすらも文化という流れの一環なのだと受け入れる思想を持った方が楽になるんじゃないかなあとと思います。ただただ廃れさせないためだけに補助や助成はすべきだとは思いません。

・多摩市の伝統的文化が何なのか？ずっと住んでいますが（40年）分かりません！何と何なのか？まとめて発信してほしい。

・多摩市伝統文化フェスタの日程が他の習い事と重なりいつも合いません。友達とも日程が合わず誘えません。文化芸術も学校の授業中に体験できるようにしてほしいです。

・文化芸術に興味があればあるほど都心部に出なくては触れられない状況にあります。特に 20 代 30 代で文化芸術に興味を持つ人が足を運びたくなるものを市内で企画して欲しいと心から願います。

・アートが全世代に身近になってほしい。マニアックに狭い世界になりすぎていると感じている。

・①「多摩市文化芸術のこれまでの歩み」を踏まえた「多摩市文化芸術活動の現状と課題・問題点」を検討することなく「多摩市文化芸術の未来像」を語ることは、単なる一過性の総花的な議論になり易い。物事には必ず負の遺産がつきものであり、それを直視することからしか、実効性のある将来像は見えてこない。多摩市文化芸術活動の基幹拠点であるパルテノン多摩改修に伴う 30 周年記念の総括を見ても、残念ながら「何が多摩市文化芸術活動の問題点か」という問いかけはほとんどない。昨今国策としての旗振りもあり、街づくりと文化芸術振興がリンクする流れが目立つが、市政 50 周年を契機に、多摩市の文化芸術振興が表舞台の話題となることを歓迎したい。実のある議論が展開されることを切望する。

②文化芸術振興は、直接の担い手である市民とそれを支援する行政との信頼関係が根底になければならない。では、その信頼関係を担保するものは何か。

それは市民文化芸術活動に対する門戸が広くかつ偏りなく設けられていることである。多摩市制当初は、市民文化芸術活動も現在ほど隆盛ではなく、活動する団体も限られていたため、数少ない特定の団体の活動が文化芸術振興の中心的な役割を担ってきたことは事実であり、果たしてきた役割には敬意を表したい。しかし開発の進捗による人口流入の増加に呼応して、市民文化芸術活動の範囲も規模も数も拡大していく。ではそれに呼応して、市民と行政の信頼関係は醸成されてきたのだろうか。残念ながら、答えは否である。対象をパルテノン多摩に限定して現在までの両者の関係を検証してみると、当事者が意図したかどうかは定かではないが、ある特定の団体や事業に行政のコミットメントが偏っていることが見て取れる。もちろんこうした流れを一概に否定するものではないが、こうした実態が新たな芽がなかなか育たない一因であったことも事実である。残念ながら、こうした目詰まり現象を打開すべく行政が先頭に立ってきた事実は当方の知り限りでは見られない。市制 50 周年を経た今、多摩市の主役たる世代が明らかに変わろうとしている。文化芸術活動の担い手が変わろうとしている。これを機に、文化芸術振興とは、旧来の体制の継続維持のみならず新たな芽を発見しこれを育てることも含めた意識改革でなければならない。

③市民文化芸術振興を進めるために必要なことは何か。既に触れた「市民と行政の信頼関係の醸成」に尽きる。そのためには、先ず行政が市民文化芸術活動にどう関わって

いるのかを広く市民に周知し、その活動や事業を市民目線で評価できる体制を構築することである。どのような団体・事業が行政の支援を受けてどのような活動を行い、どのような成果を示しているのか、納税者たる市民には知る権利がある。昨今市民の納税者意識が顕著だが、少なくとも税金を使うならば、納税者たる市民の納得を得る努力は不可欠である。旧来のしがらみや慣例・慣習がそこに介入してはならない。新たな芽を育てるためには、痛みを伴う英断が必要な場面もあるだろう。だが市民との信頼関係が根底にあれば、そうした英断を市民は支持する。

④信頼関係構築の第一歩となる課題：改修前のパルテノン多摩では、施設内での催事情報を営利事業・市民自主事業の別を問わず、広報誌「パルテノンNEWS」で広報していた。ところが改修後、パルテノン News から市民による自主活動の広報が削除されている。結果、市民の文化芸術活動に関する情報が市民に全く届いていない。関係者間の情報交換や一部コミセン（コミセンでの広報活動は制約が多くほぼ広報は不可）や公共施設（公民館）のみでの広報活動しかできないのが現状である。これでは、文化芸術振興の入り口である活動へのアクセスすらできない。これで果たして振興が計れるのか。市民の文化芸術活動は、施設が提供する営利目的のコンテンツを鑑賞するだけで事足りるという固定観念が透けて見える。観客動員数の増加だけが文化芸術振興のバロメーターだと考えているなら論外である。早急に改善して欲しい。

以上、多摩市文化芸術振興の未来像を念頭に記載させていただいた。あくまでも活動主体として参加する側からの意見である。

・上方落語が聞きたい

・舞台関連はリニューアルを機にかなり良くなってきた感じがあるので、今後も楽しみです。

多摩は可能性のある町なのに、店はチェーン店ばかりで深みがなく、施設も活かしていないと感じます。（パティオの謎スペースとか）

大通りマルシェなどもやっていますが、企画やそれに関わるデザインのダサさもいつも気になります。垢抜けないと言うか色気がないというか…。

別にお洒落は求めないのですが、ちゃんと価値のあるものを見極められる人たちを集めて、本気で文化振興してほしいと思っています。住む価値、行く価値のある町がいいですね、やっぱり。